

団体概要

大阪子どもの貧困アクショングループとは？

- 大阪母子の象徴的な2事件、2010年「西区2児放置死事件」、2013年5月24日の「北区母子変死事件」を受け「悲劇を繰り返したくない！」と子ども支援関係者を中心に有志が集まり団体を立ち上げました
- 子どもの「今」をサポートするために、セーフティネットから抜け落ちる親子を見つけだし（アウトリーチ）、公・民のセーフティネットにつなげる（コーディネートする）ことで、生活を安定させるため迅速にサポートしていきます

※日本の子どもの貧困 ※貧困率とは、家庭の所得が、その国の標準的所得の半分以上になる世帯の割合を指す
・17歳以下の子どもの貧困率は15.7%（2009年）に達し、1986年の調査開始以来、最も高い
・ユニセフ（国連児童基金）の報告でも、日本は先進35カ国中9番目に高い水準である
※母子世帯の貧困
・ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%
（「ひとり親家庭の支援について」平成25年9月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課）より

- ◆目的 私たちの目的は子どもの貧困をなくすこと。見えにくい子どもの貧困を明らかにするために、子どもや家庭の生活を調査し、子ども・親・周りのおとなをサポートしていきます

- ◆活動 しらべる・みつける・つなげる・ほぐす（問題・心）

1：しらべる <調査、レポート作成>

・2013年7月～2014年12月「シングルマザーたち100人がしんどい状況について話しました」

◇セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働調査
<成果> 適宜HP、FB、月1回の勉強会などで報告、2014年1月末に中間報告書、2014年年内に最終報告書を作成
<対象> 困難な状況にある（あった）シングルマザー、およびその予備軍、困難な状況にある（あった）シングルマザーの下で育った若者、母子のサポートをする行政、民間関係者、専門家
キーワード：母子家庭、貧困、孤立、風俗、DV、障がい、虐待
<地域> 大阪府を中心とした大阪府下（対象者を得ることが困難な場合、地域拡大）
<調査> インタビューと観察、記録するものとに分かれ、1回2時間で実施。日常の家族生活、成育歴など含む、生活史、今後の展望などについて、半構造化インタビューを行う

2：みつける <アウトリーチ※1>

- ・夜回り / 天神筋橋商店街（月に1回）
- ・その他、調査、メディア、広告...



※1 英語で手を伸ばすという意味。本来サポートが必要な人に必要なサポートがつかない現状に対し、支援者側が積極的に手を差し伸べること

3：つなげる <相談事業>（面談&メール、skype、Lineなど活用）

- ①行政・民間サービスにつなぐ
- ②行政、民間のサポート窓口への同行

4：ほぐす <直接支援>（母子サポート）（心、問題を解きほぐす、ゆるく見守る、つながる）

「シーパオくらぶ」シングルマザー親子への機会提供 ★ボランティア募集中！

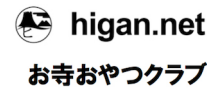
- ①親子の居場所：季節ごとのイベント、キャンプ、畑など自然体験、学習支援・・・
- ②CPAO こども食堂：養育の社会化モデルプロジェクト（7/5（土）テスト実施！）



◆他団体との連携

「お寺おやつクラブ」（月に1回）★送料お寺負担

調査フォローアップ、ゆるい見守り&緊急食糧発送



「子どもの居場所」「学習支援」シングルマザー支援団体など含め、順次拡大

地域でのゆるい見守り・相談・寺子屋・駆け込み寺・地域コミュニティづくりへ・・・

今後の予定：7/5（土）アウトリーチ

7/27（日）CPAO1周年記念イベント「隣る人」上映会&トークライブ

<お問い合わせ先>

大阪子どもの貧困アクショングループ：徳丸

事務所：〒555-0025 大阪府大阪市西淀川区姫里2丁目1番20 / マルモットステーション内

HP: <http://cpao0524.org> e-mail: info@cpao0524.org Facebook: <http://www.facebook.com/cpao0524>